

令和5年度 第8回部長会（概要報告）

- ・ 日 時 令和5年10月31日（火）午前9時00分～
 - ・ 場 所 八尾市役所第二委員会室
 - ・ 出席者 市長・副市長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
-

令和5年度 第8回部長会概要記録

日時：令和5年10月31日

午前9時～

場所：6階 大会議室

【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。令和5年度第8回の部長会にお集まりいただきご苦労様です。

9月定例会が先日閉会いたしました。長期間にわたる議会対応ご苦労様でした。市議会からの指摘事項につきましては、精査検討の上、今後の行政運営に活かしていきたいと考えております。

この間、小中学校の運動会や体育大会、市民スポーツ祭など訪問いたしました。徐々にコロナ前の活気が戻ってきたことを実感し、子どもたちや市民の皆さんの元気な姿を見て、私自身も元気をもらいました。準備や運営にご尽力いただいた職員の皆さんにも、この場を借りてお礼申し上げます。

この日曜日、片寄涼太さんに本市の観光創造アンバサダーに就任いただきました。若者の視点から八尾市の魅力を国内外に広く発信することにより、より多くの世代に八尾市への関心を高めていきたいと考えています。

大阪・関西万博も11月30日に開幕500日前を迎えます。大阪ヘルスケアパビリオンに出展する唯一の自治体として、このチャンスを存分に生かし、八尾の発展と魅力発信につなげたいと考えております。引き続き、各担当がしっかりと連携して、市民の皆さん、特に未来を生きる子どもたちに積極的に広報いただくようお願いしておきます。

次に、総理大臣の所信表明によりますと、国民の負担を緩和するための経済政策のひとつとして、国からの新たな交付金も予定されております。我々、基礎自治体はどこよりも市民生活の実態を把握しています。こうした厳しい情勢も踏まえて、令和6年度の予算編成に際しては、例年実施している事務事業についても、市民にとって今、本当に必要な施策かどうかをしっかりと見極め、予算提案していただきますようお願いしておきます。

次に、新型コロナウイルス感染症を巡っては、感染者数は小康状態にある一方、例年に比べ、全国的にインフルエンザの流行が早く始まっています。本市においても、多くの小中学校で学級閉鎖が相次いで報告されています。冬に向けて、新型コロナウイルス感染症との同時流行も懸念される中、市民の皆さまの健康と安全を守るため、引き続き、関係部局を中心に緊張感を持って、対応していただくことをお願いしておきます。

季節の変わり目で、朝晩涼しくなってきました。部局長の皆さんにおかれましても、体調に十分留意され、引き続き、ご協力いただきますようお願いし、開会のあいさつといたします。

案件

1 令和5年度八尾市総合防災訓練について

危機管理監

八尾市総合防災訓練は、地域住民・防災関係機関・行政機関が一体となって実施する実働型訓練や、災害対策本部運営訓練を平成7年度から実施してきました。

令和4年度には、「災害情報システム操作の習熟」を兼ねた災害対策本部訓練を実施いたしました。令和5年度は、実働型の訓練として、この3月に地区防災計画を策定された、北山本小学校区の住民の方々や、防災協定締結事業者の方々、自衛隊をはじめとする防災関係機関及び本市職員で、地域における「避難経路の確認」・「住民同士の安否確認」・「避難所開設・運営」の訓練と並行して、避難所への「救助物資搬送訓練」を実施する予定です。

日時は、令和6年1月20日午前中を予定しています。場所は、北山本小学校です。

市の参加者は、災害対策本部長・副本部長をはじめ、災害対策本部の運営に係る職員で、各グループ長や班長、一部の班員を中心に考えています。

詳細については、調整中ですので、決まり次第お知らせいたします。

以上、全庁的な訓練となりますので、ご予定いただきますとともに、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

特に意見なし

2 令和6年度組織機構の見直しについて

政策企画部長

令和6年度における組織機構については、原則として、現行の組織体制による運営の安定化と定着を図ることとし、社会経済情勢の変化や国・府等の施策の動向その他の要因により、政策課題が顕在化したものであって早急に課題解決を図る必要があるもの。第6次総合計画後期基本計画に向けた準備段階として見直しが必要なもの。さらなる機能的・効率的な組織体制の構築に資するもの等に限定し実施するものとし、実施にあたっては、組織の肥大化に留意し、簡素で効率的な組織を構築すること、及び市民の利便性向上の観点から、市民に分かりやすく利用しやすい組織を構築することを目指すもの、としたところです。

この間、各部局のヒアリング及び行財政改革推進本部における議論等を進め、その検討の結果といたしまして、資料にお示しの形となったところであり、令和6年度の組織体制といたしましては、17部局92課17室145系の組織体制となるものでございます。

変更を行いました箇所につきましては、新旧対照表をご覧くださいますようお願いいたします。

【人権ふれあい部長】今回の機構改革で、人権ふれあい部に人権コミュニティセンター及び周辺施設整備プロジェクトチームを新たに設置するということで、事前に話を聞いて、我々の思いを伝えさせてもらっていましたが、行革本部で決定し、来年度から人権ふれあい部の所管となると考えております。そこで何点か確認しますが、一つは、このプロジェクトチームで実施する業務ですが、複合化する施設については、これまで公共施設マネジメント室が中心になって議論を進めてきたと思いますが、それを引き継いでいく形でいいでしょうか。

次に、西郡全体のまちづくりについては、公有地の売却や活用、市営住宅との関係など、地域全体で考えていく部分があると思います。今回のプロジェクトチームは、その全体の部分は所管外と思いますが、その辺はどう考えていいのか教えていただきたいと思います。それと、令和6年度のプロジェクトチームの予算編成については、どこがするのか教えていただきたい。

【政策企画部長】これは、部局のヒアリングを経て、行革推進本部会議で決定したものです。プロジェクトチームの設置については、設置要綱を作って、来年度から実施していくことになります。

これまで、公共施設マネジメントの関係もあり、政策推進課で実施してきましたが、基本計画の策定以降は、基本的な方針をプロジェクトチームで引き継いでもらうことになります。また、全体のまちづくりにつきましては、引き続き政策なり総合調整と一緒に考えていくことになります。その際、施設を所管する各部局が集まって、個々の施設についての複合化、周辺施設の整備についての基本計画を作っていただくことが、今回のプロジェクトチームの主たる担当業務になるところです。あと予算につきましては、もうすでに政策推進課で、基本計画分も含めて要求していく形になりますが、4月からの執行においてプロジェクトチームに所管替えしていきます。

【保健所長】各消防署にあった救急課が消防本部に移っているのですが、コロナ対応で救急との連携は非常に重要な部分だったので、新しい感染症の発生時に関連しますので、今回の変更でどのような機能強化が図られたのか情報共有をお願いします。

【消防長】救急課が消防本部に位置付けがかわるということですが、制度設計等の救急事務を中心にやっていくということで、連携については今後きっちり協議していきたいと思っております。

3 近畿日本鉄道株式会社との地域活性化に関する連携協定の締結について 政策企画部長

本市におきましては、近年の人口減少をはじめとする急激な社会情勢の変化など、複雑化・多様化する社会課題に対応し、市民の多様なニーズに応えながら行政施策を推進するため、企業や大学などの様々な主体と連携し、行政課題の解決や地域の活性化に向けて、公民連携の強化を図っております。

このような中、これまでも本市が持つ自然・歴史・産業等の魅力の発信や、豊かな里山の自然が残る高安山周辺地域の魅力創造について、相互に連携協力を図ってきた近畿日本鉄道株式会社と、より一層緊密な相互連携及び協力を推進することにより、市民サービスの向上、地域の活性化及び地域社会の持続的な発展に寄与するため、令和5年10月30日に連携協定を締結いたしましたので、ご報告いたします。

なお、協定に基づく連携事項につきましては、資料に記載しております5項目を連携事項といたしております。今後、5項目について、協力した取り組みを進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

特に意見なし

4 「八尾市万博開催 500 日前月間」の実施について 政策企画部長

来る11月30日に万博開催 500 日前を迎えるにあたり、11月1日から、翌年1月3日の約2カ月間を「八尾市万博開催 500 日前月間」として、この期間に各部局が実施するイベント等のうち、「SDGs」「健康」「芸術・文化」「次世代モビリティ」など、万博のテーマと親和性のあるものについて、既に、環境部長から全庁にご周知いただいておりますが、イベントにあわせて、本市の万博への関わりをPRするブースの設置やステージプログラムなどを行っていただく予定となっており、市全体での機運醸成に取り組んでいただくこととなっています。

つきましては、当該期間中に各部局において、実施する事業及びイベント等で、万博ののぼり設置やチラシの配架、万博啓発スペースの提供など、機運醸成が可能なものについて

は、引き続き、募集しております。また、本日、配付のPRグッズについても希望にあわせて提供させていただきますので、プロジェクトチームまでご連絡いただきますようお願いいたします。

これらのイベントにつきましては、「八尾市万博開催 500 日前月間」連携イベントとして、「80（やお）アクション」特設サイトのほか、広報やお等の SNS を活用して広く発信していきたいと考えております。

また、市内の様々なイベントとも連携し、できるだけ多くの市民が万博を知り、参加、体験へとつながるための取り組みも予定しておりますことから、各部局におかれましても、市全体の機運醸成の取り組みとして、引き続きご協力をお願いいたします。

特に意見なし

5 人事評価制度アンケートの結果について

総務部長

まず、アンケート実施目的ですが、現在の人事評価制度が、制度の目的やねらいに沿った仕組みとなっているかどうかを検証するとともに、結果を踏まえ、より良い制度となるよう見直しを図ることとしております。

次に、アンケート概要ですが「人事評価制度全般」「マネジメントサポート制度」についての質問となっており、回答率 35%となりました。アンケート結果については、共通ライブラリに掲載し、その旨全課通知します。通知時期ですが、11 月に、マネジメントサポート制度の実施通知と合わせて行う予定です。

アンケート結果の活用ですが、まず 1 つに「令和 5 年度マネジメントサポート制度」への活用を図ります。マネジメントサポート制度についてのアンケート結果においては、次の 3 つのポイントがございました。

1 つ目として、意見入力率が 37%と低かったこと、2 つ目としてマネジメントサポート制度がどのような制度なのか分からないという意見が多かったこと、3 つ目として意見入力の匿名性を確保した上でその意見がどのように活用されるかが重要、という傾向が見られたことです。

この 3 つのポイントを踏まえ、今年度においては、「マネジメントサポート制度の周知徹底」と「意見入力を必須とする」ことで意見入力率を向上し、より多くの意見をもとにした適切なフィードバックを通じ、意見対象者の人材育成につながるよう、制度の精度を高めま

す。そして、アンケート結果の活用について、もう一つは「令和 6 年度人事評価制度」への活用です。人事評価制度についてのアンケート結果においては、次の 3 つのポイントがございました。

1 つ目として、人事評価制度についての認識を全職員が深めることが重要という傾向が見られたこと、2 つ目として、人材育成に寄与するために上司と部下の関係性の構築が重要という意見が多かったこと、3 つ目として、公平公正な運用に向けた取り組みが求められている、ということです。

これらのポイントを踏まえ、人事評価制度の公正公平な運用のためには、評価者と被評価者の双方が人事評価に関する共通認識を持つことが重要であり、研修等により意識啓発を図ります。

また、人事評価制度が職員のモチベーション向上や人材育成に寄与するために、上司と部下の関係性の構築が重要と感じる職員が多いことを踏まえ、上司のマネジメント能力向上を図る取り組みを継続して実施します。

最後に、人事評価制度に関する取り組みスケジュールをお示しいたします。毎年度、ご覧のとおりスケジュールで実施する予定をしておりますので、引き続き人事評価への取り組みにご協力いただきますようお願いいたします。

なお、人事評価制度アンケートにおいて、部長級職員にのみ設定しておりました項目につきましては、回答を取りまとめたものを別途部長級職員のみさんの個人メールに送付いたしますので、ご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

【こども若者部長】いくつかの事務的なことをお聞かせください。（マネジメントサポートの）意見開示のところで、部局長にはその意見を取りまとめて、メールで送付とおっしゃられたのですが、課長はないのでしょうか。

【総務部長】部局長にアンケートを取っているところでありますので、部局長に直接メールさせてもらうということです。

【こども若者部長】意見開示と書いてあるところについては、どのように意見開示されるのか教えていただければ。

【総務部長】マネジメントサポート制度の意見開示については、昨年と同様です。

【こども若者部長】実際書かれた意見を集約したものを見せてもらうとかではなく、評価者からお伝えいただけるというやり方ですか。厳しい意見があったとしてもそれは受けとめるので、直接見せてくれたらいいとは思っております。自分のマネジメント力の向上につなげたいと考えているので、ご検討いただきたい。あと、一番初めにこのマネジメントする立場にある係長なども入れた方がいいのではないかと考えています。

最後は、入力必須となっていますが、これは誰がどのように確認して管理するか教えてください。

【総務部長】入力を必須とすることは、内部でも議論させていただいているところです。現実的に、後追いができない現状はありますが、我々としては、より多くの意見を求めたいということが趣旨ですので、必須とアナウンスさせていただきました。

【健康福祉部長】（アンケート結果は）今後の人事評価制度をより改善するためにということで実施されていると思いますが、前にも意見させていただいたとおり、評価者の評価軸を合わせていくことが重要であり、研修はされているものの、評価者によって、上のほうに傾くか下の方に傾くかで大きな差がでると思います。改善の方法なり、何か現時点で考えておられることあるのでしょうか。

【総務部長】そもそも人が人を評価するということは難しいと皆さんも感じておられると思いますが、人材育成あるいは職員のやる気を向上させるために、この制度に取り組んでおります。この評価軸が不適切と感じられれば、この制度も意味がありませんので、評価者研修、被評価者研修、面談等を通じて評価レベルを向上させ、6段階評価など全庁的な共通認識の中で、評価軸を合わせることで、全体の理解度や透明度が上げていきたいと考えています。

【監査事務局長】評価軸の話ですが、大きい部局の場合は、所属長とか一次評価のレベルで評価軸をあわせることはできるのですが、「自己評価」については、軸が違うので、非常に難しいと思います。係長級以下の人には、我々と共通の評価軸がないので、この中で何

か検討していることがあれば教えていただきたい。

【総務部長】他市においても、自己評価がある市や無い市もありますが、本市がやっているのは、面談を通じてということです。一次評価者と係長が面談する中で、自分では今このようにできていると判断するけども、その上で評価者はどう考えるかとか、到達点をどこに置くのかというような面談を通じて人材育成に繋げるということで、現状としては自己評価を残しながら、人事評価を続けていきたいと考えています。

【植島副市長】職員の人材育成やモチベーションを向上するという取り組みについては、市長が就任されて以来、新たな取り組みをしてまいりました。キャリアプランという、職業人生プランも含めて、どういう人生を描いていくか、本市にどのように貢献してもらえるのかということも含めたキャリア支援ということで、所属長を中心に研修にも取り組んでいます。

今回、2回目となるマネジメントサポート制度についても、去年は2～3割ぐらいの意見でしたが、単なる批判というものはほとんどなく、職員は冷静な判断で意見を出していただいております。あとは基本的には全員に意見を出していただくことを目指して取り組んでいく、そのために何をすればいいのかをしっかりと考えていかなければならないと思います。

人事評価についても、評価される職員にとっては、公正・公平・透明性のある評価をして欲しいということが当然ですので、今後もしっかりと見直し・改善を進め、職員に理解される制度にしていきたいと考えております。部局長からも様々なご意見をいただき、改善の参考にさせていただきたいと考えております。

6 令和5年度はたちのつどい職員応援依頼について

こども若者部長

令和5年度はたちのつどいへの職員応援につきまして、ご依頼申し上げます。

今回の式典は、令和6年1月7日（成人の日の前日）に、八尾市文化会館プリズムホールにて、開催いたします。また、参加者の待合、交流場所としてプリズムホール東側の桜ヶ丘公園を開放いたします。

スケジュールについては、午前の部が10時30分～12時30分まで、午後の部が13時30分～15時30分までの開催となり、午前・午後とも同内容で実施します。

今年度の対象者は、平成15（2003）年4月2日から平成16（2004）年4月1日に生まれた者で、2,528名となっております（令和4年度比118名減）。

なお、会場への入場は対象者のみとし、来賓の出席は見合わせることにいたします。

応援職員の依頼人数については、別紙のとおりとなります。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

本日付で依頼文書をお送りする予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

役割分担につきましては、応援職員が決まった後、こども若者政策課より分担表を送付させていただきます。

特に意見なし

7 消防出初式について

消防長

消防職員並びに消防団員の士気高揚と防火・防災に対する決意をあらたにするとともに、消防装備とその消防力を披露して、より一層市民の信頼と理解を得ることを目的に、令和6年八尾市消防出初式を開催します。

日時は、令和6年1月8日、午前10時から12時（小雨決行）場所は大阪府中部広域防災拠点（八尾市空港1丁目209-7）、概要は分列行進（徒歩部隊及び車両部隊）、新型消防団車両、資機材披露、救助隊訓練披露、一斉放水訓練（消防署、消防団、幼年消防クラブ等）、車両、各種資機材展示、記念撮影となります。

参加関係団体は、幼年消防クラブ、自主防災組織、自衛消防隊、消防支援ボランティアとなります。部長級以上の職員の皆様にはメールにてご案内を送付させていただきます。お時間の許す限りご出席いただきますようお願いいたします。

なお、気象状況等により中止と判断した場合は、当日の午前7時にホームページへ掲載しますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

【大松市長】今回の出初式には自衛隊は参加するのでしょうか。また、出初め式は伝統のある行事で、市民の見学も多いが、我々関係者が一番いいところに座っているのはどうかということで、できる限り市民優先で見ていただけるようなレイアウトに変更してもらいました。部局長を初め関係者の皆さんも、いつもの席とは違いますが、ご理解ください。また、今回まちのコインのクラウドファンディングの返礼で特等席を用意することになっていますが、どのような状況ですか。

【消防長】一番見やすい席を特等席とするよう準備を進めています。なお、自衛隊は展示で参加する予定。

その他として、令和6年度当初予算要求の状況について、財政部長から報告があった。